

新潟県新発田地域振興局長賞

つなぐ

新発田市立 紫雲寺中学校 三年 阿部 さくら さん

私は、知らない。税金とは何か。でも、知らなければならぬ。いつか税金を払う側になるから。

正直、私は税金を、払う側になるまで私にとって税金は、関係のないものだと思う。でも、それは大きな間違いだった。私にとって税金は、もうすでに身近にあったのだ。

謙信公武道館。ここは、私が出場する相撲の県大会に使用されている。大規模な会場だ。二面土俵であるため、試合前のアップも土の上でできる。とても、すぐれた施設だ。私は、この会場が大好きだ。

そして、ある日。私は、知った。謙信公武道館が、税金で建てられたということ。最初は、何とも思わなかった。しかし、親が税金を納めるのを見て、私が戦う土俵は、たくさんの人の想いで作られたということに気がついた。なんだか、頑張りたいと思った。たくさんの人が期待してくれているように見え、同時に期待に応えたいと思えた。

この経験から、私が言えること。それは、税金とは、愛だ。たくさんの大人が、未来を生きる私たちに期待を込めて贈るもの。この愛のリレーをみんなで知り、伝え合うべきだと私は思う。

そして、私たちのような学生は、期待を込めて買って頂いた教科書や校舎を大切に使い、成長することが使命だ。大人の方々にやって頂いたように、大人になったら税金を通して、未来の子どもたちに、愛を届けることができるように。この愛のリレーが途切れることがないように。常に感謝の気持ちを忘れず、思いやりの気持ちを忘れず、支えて、支えられて私たちは生きていこう。税金は人と人をつなぐ大切な愛のリレー。これが、50年後も、100年後も、途切れることがないことを私は願う。そして、将来私は自身がこのリレーのバトンを渡されたとき次の人に、気持ちも一緒に継げられるように、税金について学びたい。

みんなで、つなごう。税金という名の愛のリレーのバトンを。